

## 第1回苫小牧市男女平等参画を推進する市民会議会議録（概要）

- 1 日 時 平成31年3月19日(火) 13:30~15:00
- 2 場 所 苫小牧市民会館 205 会議室
- 3 会議概要

市長挨拶

事務局説明（これまでの経過と現状を資料をもとに説明）

自己紹介

- (1) 現状と課題等の情報共有について
- (2) 市民会議の在り方と方向性について
- (3) その他

市長

今日は、市民会議の位置づけを皆様にご存知いただきたいという事がひとつ、もうひとつは、御縁あって構成メンバーになっていただいた皆様に、自己紹介、テーマに対する思いをいただきたい事がメインです。

宮嶋室長から、市の経過等、あるいは全体のフレームについてお話を聞いていただきました。私からは、この会議をスタートするに当たり、経過の情報共有、今を取り巻く時代認識について一定の認識共有が必要ではないか、その中で市民会議を立ち上げ、様々なチャレンジをしていきたいと思っております。

男女平等参画というのは、ずいぶん古い歴史がありますが、今までどちらかというと日本社会では、ある意味限定的な取り方でした。しかしこの10年で、市長として経営オペレーションをしてきた中で、主軸をなすテーマになってきていると感じています。市民、企業、各団体、各機関の皆様と、この問題について、情報交換、情報共有の作業からこの市民会議をスタートしていきたいと感じており、第一歩を踏み出せばいいと思っております。

今、男女平等参画、国では男女共同参画と言いますが、このように時代の主軸をなす課題だという事を皆で共有したいと考えております。

市では、今年から組織名に協働・男女平等参画室を入れ、市政方針の中でも男女平等参画の位置付けのポジションを上げて、考え方を議会に発信しました。

私が市長になったのは、2006年、平成18年7月です。その年の12月に、男女平等参画推進条例を議会に提出し、全会一致で決まり、翌年2007年、平成19年7月1日から、条例が施行されることになりました。

先ほどの話にもありましたが、2013年、平成25年に、北海道で初めて

宣言をし、2017年に日本女性会議を開催し、今日がある。岩倉市政の歩みは、男女平等参画と共にあると感じており、こだわりをもってこのテーマにチャレンジしたいと思っている中で、市民会議の座長を務めさせていただきます。苫小牧における12年の流れを、是非知っていただきたい。

ふたつ目です。日本女性会議の時に11の分科会があり、その分科会テーマが、DV、人権、災害、ワークライフバランス、貧困、高齢者の生きがい、平和、ダイバーシティ、教育、健康と食育、そして11分科会が、日本のみんなよ幸せになろうという11の分科会でした。

男女平等参画と言うと、人権とか平和とか難しいイメージで受け取られる場合もあるのですが、冒頭に言いましたように、今は時代の主軸の課題であるという意味では、我々の生活と非常に身近な問題だという事を、皆様に訴えていかなければならないと思っております。

11のテーマの中には、社会問題化しているテーマもあります。

悩める子ども、悩める家族を少なくするために、日本の社会、苫小牧の取組の考え方を、いかに醸成していく事が必要。その一つのコアな考え方が、市民会議でありたいと考えております。

それぞれの企業、団体の方に取り組みをしていただいていると思いますが、その事について情報共有しながら、刺激を頂きながら、この市民会議が何を成すべきなのかについて、皆様から沢山のご意見、ご提言、ご示唆を頂ければ嬉しいです。

もうひとつ、今年度、ワークライフバランス等に一生懸命取り組んでおられる企業の皆様の表彰制度をスタートさせました。表彰式では、本日いらっしやっている各社様の、社内での取組を聞いて、すごいなと感じた事を、皆で共有していかなければならないと思います。

例えば、王子製紙さんは経団連に入っていますので、このテーマへのプッシュが大きくあるのではないかと考えています。それだけではなく、中小企業が早くこの事に気が付いて取組を進めていく、そのための環境整備が重要だと考えています。そのような思いで、市民会議を立ち上げていく、チャレンジしていくと同時に、議会でも重要な役目である市の施策等々について、議会が承認して初めてオペレーションが可能になるので、市の取組に対する意見も皆様から頂くことによって、行政も、議会も、これからの参考にさせていただく場にもしていきたいと思っています。よろしく申し上げます。

～皆様からの自己紹介と市民会議に期待することなどをお話し頂きました～

市長

ありがとうございました。

今日は第1回目ということで、自己紹介を含めて様々な思いを発信していただきました。

時代の主軸をなすこのテーマを、どのようにハンドリングしていけばよいのか、行政として大変重要な取組課題となっています。

これからも、この場で意見交換、情報共有をしながら、少しでも時代にマッチングした都市になっていく必要があるのではないかと考えております。

今日の段階では白紙ですが、市民会議の中で具体的な事業を持ち、一生懸命に歩きながら、企業、市民のためになる市民会議にしていきたい。

閉会